

# 東京新聞

夕刊

放射線

私たちが昨年から「お母さん  
の命を守るキャンペーン」を開  
催している。出産にめざましい  
なリスクがあり、世界の全妊婦  
の15%が何らかの病気や不健康を抱えて  
いる。一分間に一人の妊娠婦が亡くな  
る。いまだあまり知られていない現実を  
知りてもらいたい。上位署名をお願いし、日本  
の政府開発援助(ODA)が、途上国のお  
母さんの健康新聞を広げ活動を回しながら、と  
訴えたい。

このキャンペーンのため三十人以上の署  
名を集めさせていただいた女性がいる。埼玉県  
長瀬町在住の七十七歳の『お母さん』。ど  
しても大切な国のため自分たちの命が  
あれば、と語ってくれた。新聞が「まだ  
署名の数が少ない」と報じたのを読みやわ  
がり涙のまゝに怒り、やる気で情熱的に取り  
組んでくれた。その土地で日本料理の店を  
営んでいて、その格好と一緒の署名のよ  
びかけをしたんだ。

「人の役に立つない」とこの言葉を超  
えてくるよみに思つ。一人の母親としての感  
覚を大切にして、地域のつながりを最大限  
生かしながら、地元の仲間と一緒に一人声を  
かけ行動してくる。『お母さん』の思いや  
経験は、先進国も途上国も違はず。

長瀬町方圓からの署名の束が届くたびに、  
事務所は活気づく。私たちは活動を通じて地域に  
根ざす人たちと支えられてくる。『お母さん  
』に心から感謝するひとも、途上国の女  
性たなど、日本の地方に書  
いた女性たちが、いついた  
形づながっていよいよが  
流れじ。(池上 達子=国  
連人口基金東京事務所長)